

卓 話

平成 26 年 4 月 15 日

『企業には遊びが必要』

宮地正直会員

株式会社電算システムは、土岐に東濃データセンターを造りました。当センターの敷地内には、出雲大社の直系神社、出雲神大国主神を祀る八雲神社をつくりました。

「出雲神社」に天照大神あまてらすおおみかみから大国主大神おおくにぬしおおみかみに神事（神の世界）を統治せよという勅令が下され、659年創建。旧暦10月10日、大国主大神（守護神）のもとに八百万やおよろずの神々が集うこととなった。（神在月）

いま、出雲大社は、「平成の大遷宮」といわれる60年ぶりの本殿の大改修が行なわれ、遷宮は伝統的な形を保ちながら、新しい技術が注入され、いろいろな知恵が隠されている。これは、技術大国・日本として世界に誇るべき側面であり、日本人の精神的な基軸なのです。

現代は特にものごとの変わりやすい時代です。情報社会の中でスピードは増し、常に流されている自分にふと気付くことがあります。こんな時、かくされたることに頭を下げる。そういう謙虚な気持ちと、限りある命の中で生かされていることへの感謝の気持ちを持ち続けることが大切なことだと思います。感謝すべきものに気付いたら、大切なものを守ることができます。「念ずれば通じる」ということであり、これが日本人の美德です。大国主大神は、目に見えない世界を治める神様で、そのために目に見えない縁を結ぶとされています。運は一瞬。縁は一生です。

「宗派を超えて人々に近づく」伝統的仏教には、13宗56派あるといわれる。私は、神を含めて「教えを学ぶというより、身近な癒しとして触れている」「人々と宗教の距離をより近づける」ことができるのもネットの力。人生、ビジネスには、遊びと楽園が必要です。

